# 事業計画① 造船-舶用事業者間における舶用機器・部品の 商流の改善に係る調査研究 (令和4年度補正予算事業)

一般社団法人日本造船工業会

### 2023年度の事業計画

#### < 今年度調査研究の骨子・スケジュール>

#### ロ 舶用機器の標準発注仕様書の策定

- (1) 舶用機器標準仕様書の品目の検討・選定
- (2)標準発注仕様書の作成
- (3) 昨年度作成の標準発注仕様書の評価

#### ロ 技術情報共有プラットフォームの検討

- (4) 技術情報共有プラットフォーム(試用版)の構築
- (5) プラットフォームの試用、およびアンケート調査(要すればヒアリング調査)
- (6) (5)の調査結果をSmall Working Group (SWG) で評価 → 実用版プラットフォームのシステム 要件・仕様の検討

実施スケジュール

	2023年						2024年		
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
標準発注仕様書の策定									
(1) 品目の検討・選定									
(2) 標準発注仕様書の作成									
(3) 昨年度作成の標準発注仕様書の評価									
技術情報共有プラットフォームの検討									
(4) プラットフォーム試用版の構築									
(5) プラットフォームの試用・アンケート調査									
(6) SWGでの評価、実用版のシステム要件・仕様の検討								***************************************	
報告書作成									

# 2023年度の事業計画(つづき)

### ◆舶用機器の標準発注仕様書の策定

#### ロ 品目の検討・選定

- ▶ 過年度は機関室内の関連機器を中心に検討を進めてきたが、今年度は船体及び電気艤装品を含め 機関室外の機器・設備にも検討対象を広げる
- ▶ 造工と日舶工との協議を踏まえ、15品目を選定する(船装機器8品目+電装機器7品目)

### ロ 標準発注仕様書の作成

▶ 業界内の調達シェア過半を有する造船所の発注仕様書に準じ、標準発注使用書素案を検討、作成する

#### ロ 標準発注仕様書の評価

- ▶ 策定した標準発注仕様書を業界標準として活用できるよう、造船事業者及び舶用工業事業者(策定実施事業者以外)からの意見等をアンケート調査にて収集する
- ▶ 今年度の評価対象は、R4年度当初予算調査事業(2022年実施)で策定した10品目

### 2023年度の事業計画(つづき)

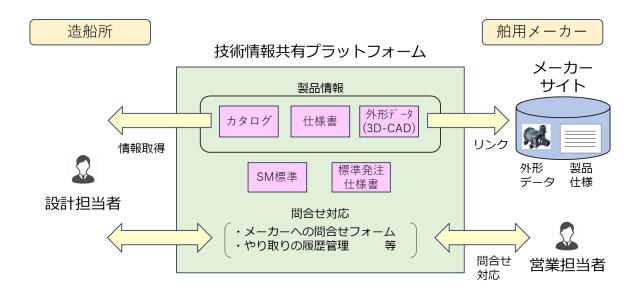
### ◆技術情報共有プラットフォームの検討

#### ロ プラットフォーム (試用版) の構築

R3当初予算事業において実施したアンケート・ヒア リング調査結果の考察から検討された「造舶間設計 情報ポータルに求められる要件の第1段階、「製品・ 技術情報の共有」にフォーカスする。



- ▶ 実運用の段階でも運用コストが少なくなるよう(数百万程度/年)な構成とする。
- ▶ 利用イメージ



## 2023年度の事業計画(つづき)

- ◆技術情報共有プラットフォームの検討
- ロ 技術情報プラットフォーム (試用版) の試用・アンケート調査
  - ▶ 技術情報プラットフォーム(試用版)を造船事業者および舶用工業事業者に公開し、一定期間試用してもらう
  - ▶ アンケート調査により、情報収集プロセスなどの業務効率改善効果について評価を実施する
- ロ SWGでの評価、実用版のシステム要件・仕様の検討
  - ➤ SWGでの評価を基に、実用版プラットフォームのシステム要件・仕様を検討する

### 2023年度の事業成果

#### ロ 舶用機器の標準発注仕様書

▶ 造工-日舶工間での協議を踏まえ、15品目を選定した。

船装機器(8品目):舷梯、プロビジョンクレーン、甲板機械、操舵機、バウスラスタ、通風機、

空調装置、冷凍装置

電装機器(7品目):電動機、変圧器、蓄電池、プロペラ軸回転計、舶用白金測温抵抗体、

ラダーアングルインジケータ、舶用電気式圧力発信器

業界内の調達シェア過半を有する造船所の発注仕様書をベースに、業界内の統一標準発注仕様書案を検討、作成した。

R4年度当初予算調査事業で策定した10品目の標準発注仕様書を業界標準として活用できるよう、 造船事業者及び舶用工業事業者(策定実施事業者以外)からの意見等をアンケート調査により 聴取、現在集計・評価中。

### 2023年度の事業成果

#### ロ 技術情報共有プラットフォーム

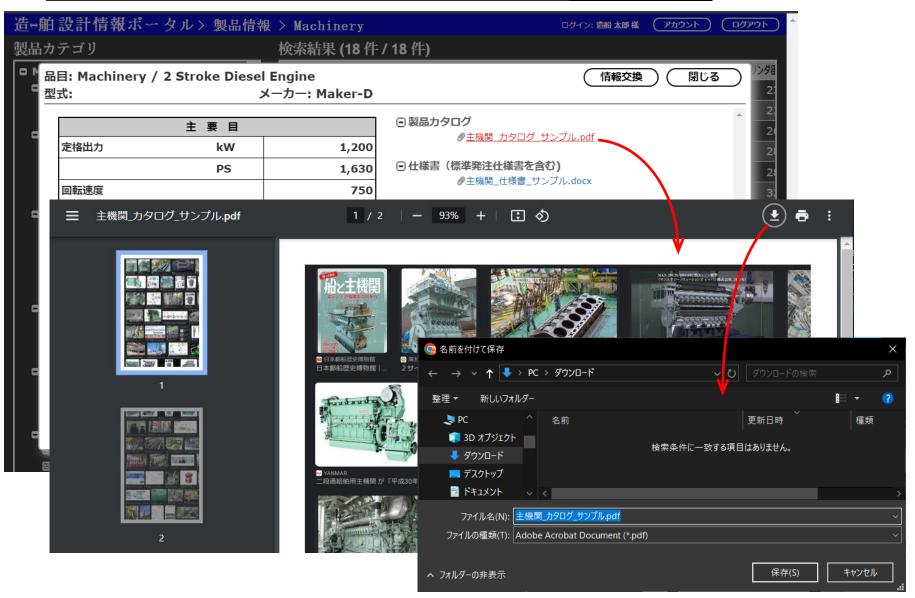
- ▶ 技術情報共有プラットフォーム(試用版)を製作し、造工ー日舶工に使用説明会を実施した後、試用を開始した。
- ▶ 技術情報共有プラットフォーム(試用版)の機能の概要
  - <造船事業者が使用する機能>
    - ・詳細仕様、カタログ、仕様書、技術資料、図面等をダウンロードする機能
    - ・製品仕様の条件設定による検索・絞り込み機能
    - ・舶用工業事業者に対してテキスト・図面等画像データ貼付により問合せ及び回答を行う機能

#### <舶用工業事業者が使用する機能>

- ・詳細仕様、カタログ、仕様書、技術資料、図面等をアップロードする機能
- ・仕様書、技術資料、図面等をダウンロードする機能
- ・造船事業者に対してテキスト・図面等画像データ貼付により問合せ及び回答を行う機能

## 2023年度の事業成果

### コ 技術情報共有プラットフォーム(試用版)の使用例 ~造船事業者



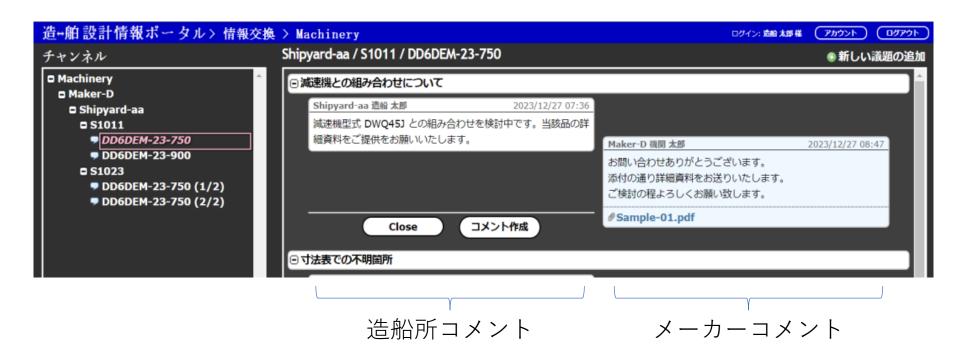
### 2023年度の事業成果

### ロ 技術情報共有プラットフォーム(試用版)の使用例 〜舶用工業事業者



### 2023年度の事業成果

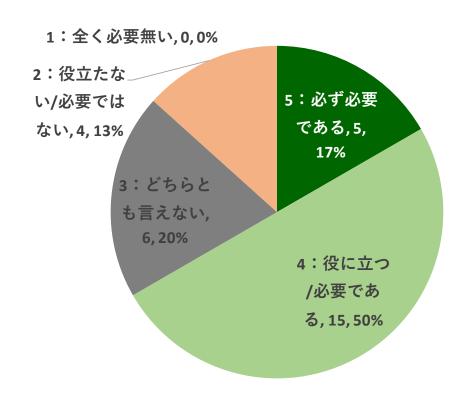
### ロ 技術情報共有プラットフォーム(試用版)の使用例



### 2023年度の事業成果

#### ロ 技術情報共有プラットフォーム (試用版) アンケート結果

- プラットフォームへの期待と課題
  - 約67%の利用者が「必ず必要」「役に立つ/必要」と回答



#### > 懸念事項

- 参加舶用メーカー数の増加
- 定期的なシステムメンテナンス実施
- 情報量が増えた場合の処理速度

### 普及に向けた取り組み

#### ロ 舶用機器の標準発注仕様書の普及に向けた取り組み

- ▶ 「サプライチェーン造舶合同会合」にて標準発注仕様書作成、仕様書内容の評価、造船-舶用両業界への普及をおこなっている。
- 企画委員会(造工)等にて会員各社首脳へ普及についての協力を要請している。

### ロ 技術情報共有プラットフォームの普及に向けた取り組み

- 評価をもとに実用版プラットフォーム実現に向けてのシステム要件・仕様を検討する。
- 実用版作成、検証、運用のための体制づくりを検討する。